

**解説板の現状例 (坂田寺跡の場合)**



現況

現況は、県道から脇にそれた坂道沿いの小さな水田の角に、やや斜めになった「坂田金剛寺址」と刻まれた石柱があり、その水田の一段上に小さな公園があって、その入口近くに上記の解説板が設置されている。また公園内には、明日香村内に 32 ヲある「万葉歌碑」の一つが設置されている。

問題点が多い  
寺の建物が残っていないので、案内表示板をわかりやすくすることで対応する。

◆気をつけて探していないと、見落とししてしまう。

◆坂田寺が「歴史的にどのような意味をもっているのか」を示した解説は、「飛鳥五大寺の一つ」の部分のみで、なぜ五大寺の一つにあげられていたのかわからない。

◆この解説板では、建物の大きさや伽藍配置、実際のどの場所に建物があつたのか、など全くわからない。

◆今まで十数回にわたって発掘調査が行われているが、「奈良時代の仏堂と回廊が確認された」と書いてあるだけで、発掘成果もほとんど紹介されておらず、ここに大きな寺院があつたことすら想像できない。

「歴史展示」の解説板の新設により対応する。

「歴史物展示」の解説板の充実により対応する。

### 歴史展示解説

Explanation of history exhibition  
历史展示解説  
역사관람사의 해설

#### 坂田寺って、何?

What place is the Sakatadera temple?  
坂田寺院是什么?  
사카타 데라 맞아 어떤 곳입니까?

**日本での仏教発祥の地!?**  
It is a Buddhism birthplace in Japan!?  
在日本的佛教发祥地!?  
일본에 있어서의 불교발상지!?

渡来人の司馬達等は、私的に仏教を傳授していたが、蘇我馬子の依頼を受け、彼の嫡子3人の女性を出家させ、日本の仏教興隆に大きな役割を果たした。『扶桑略記』に「鞍作村主司馬達等、大和国高市郡坂田原に草堂を営む」とあり、この地が日本における「仏教発祥の地」なのかもしれない。

Pachhorse driver Segwa's request was received, three women including daughter Shima were made to become a priest, and it played a major role to the Buddhism rise in Japan.

船来人司馬達等、私人信仰者佛教、受到苏我马子的要求，让女儿们3个女性出家，在日本的佛教兴隆里完成了大的作用。

스가노마리 의 의뢰를 받고, 딸의 시마를 3 명의 여성을 출가하게 해, 일본에서의 불교발상에 큰 역할을 다했다.

#### 「飛鳥五大寺」の一つですよ

One of ASKA of five minsters  
飞鸟的五大寺之一  
아스카의 5 대사원의 하나

#### 日本人ゆかりの地だよ

Those who introduce relation ground  
船来人因縁的の地  
도래인 연고지

司馬達等の子の鞍作多須奈、または孫の鞍作止利が寺を建立したとの記録が残っており、坂田寺は渡来系氏族・鞍作氏の氏寺である。司馬達等は、6世紀頃に馬具の製作技術集団を率いて、朝鮮半島から渡来したが、中国の梁という国の出身との伝承もある。

The record that Kuratsukuri-no-tasuna of the child of Shiba-tatsuto or grandchild's Kuratsukuri-no-tori erected a temple remains. Sakatadera is person Kuratsukuri's in those who introduce system clan's temple.

司馬達等の子の鞍作多須奈、または孫の鞍作止利が寺を建立したとの記録が残っており、坂田寺院は船来系氏族の鞍作氏先代の氏寺である。司馬達等は、6世紀左右南朝馬具の製造技術集団、从朝鮮半島船来。

#### 現在地はどこだよ。

The present place is here.  
現在地はこちら  
현재 땅은 여기입니다.

### 坂田寺跡

Site of Sakatadera temple  
坂田寺跡  
사카타 데라야토

高市郡明日香村大字坂田

#### ＜関係年表＞

戊午年 (538)	百済の聖明王が仏像と経典を伝える。(上古聖徳法王帝説、元興寺縁起)
欽明13 (552)	百済の聖明王が仏像と経典を伝える。(日本書紀)
用明2 (587)	鞍部多須奈、天皇の為に仏像と寺を作る。
推古1 (593)	聖徳太子が摂政となる。
推古4 (596)	飛鳥寺が完成する。
推古11 (603)	冠位十二階を制定する。
推古12 (604)	十七条憲法をつくる。
推古14 (606)	鞍作止利、飛鳥大仏を造る。それを飛鳥寺に安置した功績により補地を賜り、金剛寺を遺棄する。
推古15 (607)	小野妹子を隋に派遣する。
推古30 (622)	聖徳太子が没する。
推古31 (623)	鞍作止利、法隆寺金堂釈迦三尊像を造る。
朱鳥1 (686)	敏達天皇の言ひ日法会を、大宮・飛鳥、川原、豊浦、坂田の五大寺で行う。
天平9 (737)	信濃尼が経典を内裏に進上する。
天平勝 (749)	東大寺大仏殿に東鑑侍を御納宣1
10世紀後半	土砂崩れで倒壊する。

※司馬達等の子が鞍部(作)多須奈、その子が止利。

#### ＜坂田寺推定伽藍配置＞

#### ＜主な出土物＞

#### ＜仏堂跡遺構＞

#### ＜復原想像図＞

こんが喜ぶの寺  
だったんだよ。

### 坂田寺解説

＜Explanation of Sakata temple 坂田寺院解説 사카타절의 해설＞

平安時代(11世紀初)の『扶桑略記』に「鞍作村主司馬達等、大和国高市郡坂田原に草堂を営む」とあり、『日本書紀』の記述とあわせて、坂田寺の創建年代については諸説ありますが、鞍作氏の氏寺として、飛鳥寺とならぶ最古級の寺院と推定されています。飛鳥時代の伽藍は未発見ですが、出土土器や瓦からその存在が伺えます。その後、朱鳥元年(神代宗制)には、大宮大寺・飛鳥寺・川原寺・豊浦寺とともに飛鳥の五大寺にあげられています。

奈良時代には、信濃尼が天平9年に経典を内裏に進上したと、天平勝元年に東大寺大仏殿の東鑑侍を御納したことが記録に残っています。これらの記事と前後する時期の伽藍が、これまでの調査で判明しています。平安時代以降については明らかではありませんが、10世紀後半に土砂崩れで倒壊していることが判明しています。『多武峯略記』には、承安2(1172)年に多武峯の末寺になったことが記されており、現在の金剛寺のことと考えられます。

これまでの調査によって、寺院は山側から飛鳥川に向かっての傾斜地に縄文時代に造成して平坦地を作り出し、中心部は東西 63m、南北 56m のほぼ正方形に回廊があつた、その東面回廊に二重蓋覆をもつ金堂が取り付きます。中門は、金堂の対面(西側)にはなく、北面回廊に推定されています。回廊の内側には二層の基壇建物があつたようですが、その規模や性格は明らかではありません。回廊の外側は、金堂の背後には礎石をもつ基礎建物があり、回廊の西側に二層柱建物、北側に井戸や石垣が見られます。また、出土物としては、奈良時代の黒雲土器、金属製品、和陶磁器、木簡などが、奈良時代の坂田寺の様子は徐々に判明していますが、飛鳥時代については今後の観望です。

In "Fuso Ryakuki" at the Heian era, Kuratsukuri-no-suguri-Shiba-Tatsuto build the temple in Yamato country Takaichi county Sakatahara. Another theory is in "Nihon-Shoki". There are various opinions about the creation age of the Sakata temple. Here is a Mr. temple of the Kuratsukuri family. It is presumed that it was Asuka-dera Temple and queues up and is a buddhist temple of the oldest class.

The existence can be presumed from the excavation earthenware and the tile though the cathedral of the Asuka age is a undiscovered. Afterwards, it was enumerated with Daikandaji, Asuka-dera, kawahara-dera, and Toyura-dera in "Asuka 5 Big Temple" in the Jito emperor period.

Shinsyouyui presented the imperial palace the sutra in years of nine of "Tenpyo" at the Nara era. In years of first of "Tenpyo-hoji", the record that the Sakata temple dedicated east-waki to the Todaji Temple great image of buddha lord remains. The appearance at the time that these do the article and back and forth turns out in a current investigation. The appearance since the Heian era is not so understood. It turns out that here has collapsed because of the landslide in the latter half of the tenth century. It seems, this is present "Kongo-ji Temple" though it is recorded that it is a branch temple of "Tononme Temple" in "Tononme Ryakuki" in 1172.

平安時代の扶桑略記に有鞍作村主司馬達等、大和国高市郡坂田原経略草堂。配合日本書紀の記述、关于日本寺院の創建年代有诸说。作为鞍作氏先代の氏寺寺院、与飞鸟寺并列被推定最古級の寺院。飞鸟時代の伽藍は未発見。不过、由出土土器和瓦那个存在能拜访。此后、在朱鳥元年(神代宗制)时期、与大宮大寺・飞鸟寺・川原寺・豊浦寺一起被飞鸟の五大寺推定。

奈良時代、信濃尼が天平9年内内裏に経典を、天平勝元年に東大寺大仏殿の東鑑侍の御納したことが記録に残っています。これらの記事と前後する時期の伽藍が、これまでの調査で判明しています。平安時代以降については明らかではありませんが、10世紀後半に土砂崩れで倒壊していることが判明しています。『多武峯略記』には、承安2(1172)年に多武峯の末寺になったことが記されており、現在の金剛寺のことと考えられます。

平安時代の扶桑略記に有鞍作村主司馬達等、大和国高市郡坂田原経略草堂。配合日本書紀の記述、关于日本寺院の創建年代有诸说。作为鞍作氏先代の氏寺寺院、与飞鸟寺并列被推定最古級の寺院。飞鸟時代の伽藍は未発見。不过、由出土土器和瓦那个存在能拜访。此后、在朱鳥元年(神代宗制)时期、与大宮大寺・飞鸟寺・川原寺・豊浦寺一起被飞鸟の五大寺推定。

奈良時代、信濃尼が天平9年内内裏に経典を、天平勝元年に東大寺大仏殿の東鑑侍の御納したことが記録に残っています。これらの記事と前後する時期の伽藍が、これまでの調査で判明しています。平安時代以降については明らかではありませんが、10世紀後半に土砂崩れで倒壊していることが判明しています。『多武峯略記』には、承安2(1172)年に多武峯の末寺になったことが記されており、現在の金剛寺のことと考えられます。